

伝統を守り、新しい建築美の追求

第12期 家づくり体験塾

募集要項



「家づくり体験塾」は暮らしの原点でもある「衣食住」の「住」に係わる体験で、現代人が忘れてしまった自分の手で作るという楽しみを堪能できる体験です。日本の文化や環境を大切にし、自然と一体となった私たちの暮らしをもう一度取り戻しませんか。

NPO 法人大山千枚田保存会

「家づくり体験塾」プロジェクトチーム

■◆■ はじめに ■◆■

近年、鴨川市も全国の中山間地域と同じく過疎高齢化が進み、農地も荒廃の一途を辿っております。そんな中、NPO法人大山千枚田保存会では棚田オーナー制度をはじめとする各種の都市農村交流ツールを通じて農地保全および定住者増加を促し、地域の活性化に努めております。

19年目を迎えた棚田オーナー制度のほか、大豆を作り味噌や豆腐など加工技術を習得する大豆畑トラスト、和綿と藍を育てて糸を紡ぎ、織りや染めまで体験する綿藍トラストなど様々なプログラムを用意して交流の充実を図ってまいりました。参加する都市住民の中には田舎暮らしを希望する人も多く、夢が叶い田舎暮らしを始める人も徐々に増えるようになりました。そういった方々から、「衣食住」の「衣」、「食」だけでなく「住」も体験してみたい、自分の住む家を自分自身の手で作ってみたいという声が寄せられています。そんな声にお答えすると共に日本の伝統建築の継承や古民家の改修保全を進めるべく企画いたしました。

百年以上経った日本の古民家のほとんどは、せいぜい人間の肩や荷車で運んでこられる範囲の木材や紙、竹、土、わらなどの自然資源を使い、建てられています。また、それを建てたのは、棟梁という大工の職人はいたもののほとんどは農家の半分素人集団だといわれています。自分の暮らす家を自分の手で作る。その中で地域の暮らしや森が守られ、自然環境も守られてきました。今、シックハウスなどに代表される諸問題は行き過ぎた経済性の追求や環境への配慮をなくした結果であろうと考えます。私たちは、住宅の本当の価値をしっかりと見つめることが必要です。

この事業は日本の伝統的住宅建設技術を生かし、国内産の建築資材にこだわりを持って進めることから伝統技術の保全、林業の復活や里山の再生、古民家の再生など21世紀における私たちに課せられた課題を少しでも解決しようとするものです。

ぜひ、本企画の趣旨をご理解頂き、参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

NPO法人大山千枚田保存会
理事長 石田 三 示

■◆■ 目的・理念 ■◆■

日本には、自然素材である木材、竹、土、わら、紙などを使って100年、200年耐えうる家を作るという伝統的な建築文化があります。しかし最近では、新築こそ価値があり長く利用せずに壊しては作っていくという傾向があります。資源保持の観点からも廃棄物の問題からも好ましくない状況になっています。

そこで「家づくり体験塾」では、新築の住宅を建設しながら家作りの基礎を、空き家となった古民家を使って、改修技術を学びます。建築を体験してみたいという方々を対象に、単なる作業体験だけでなく、次のようなことを提供していきたいと考えております。

★日本の気候風土に合った建築技術を学ぶ。

★地場産（国産）木材の良さを知る。

★古民家の持つ本当の豊かさを学ぶ。

★地場産木材を利用することで森の再生を進め、

地球の環境を守る活動につなげる。

■◆■ 家づくり体験塾概要 ■◆■

【 主旨 】

新築住宅建築および古民家の改修を通して、体験塾の形で日本の伝統的建築を学び、自らの生活に生かしていく。

【 対象 】

古民家改修や家作り体験、知識習得を希望する人
健康で大工仕事や左官仕事等できる体力がある人。年齢性別不問

【 内容 】

実技研修：新築住宅一棟、古民家改修一棟を利用し、一年を通して周辺整備から基礎、墨付け、刻み、建て方、内外装、水まわり構築など住宅の建築に関するすべてのプログラムを体験する。

座学：毎回、初日の夜、専門家による講座（古民家再生について、木について、住宅建築の基礎知識と建築法規、畳について 土壁について など）

【 時期 】

令和元年7月より令和2年3月

各回とも 9:30 受付、10:00 開始 終了 15:00（2日目）

【 回数 】 10回 / 各回1泊2日（講習、実習）

【 各回の内容 】 別紙による（天候、仕事の進み具合等で変わる可能性があります）

【 参加費 】

受講料 新規塾生 180,000円（施設使用料食事代別）学割あり

継続塾生 150,000円（施設使用料食事代別）

※途中不参加時分として返金はできません。

（鴨川市青少年研修センターに宿泊します。合宿をイメージして下さい）

その他、大工道具代約20,000円（各自でご用意することも可）

各回参加時の食事代（@500円 4食2,000円）、施設使用料（3,000円程度）

等が別途代金になります。

【 募集人数 】 30名

応募者多数のときは抽選にて決定させていただきます。

令和元年度家づくり体験塾スケジュール

※日程等は変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第1回 期日7月6日～7日

内容 『開講式、現地案内』

1日目 開講式 趣旨説明

講座：木について

交流会

2日目 尺杖製作

第2回 期日7月27日～28日

内容 『大工技術の知識及び体験』

1日目 大工道具の説明及び調整、道具の使い方、選び方、直し方

講座：住宅建築の基礎工事について

2日目 土台、柱、桁、梁の墨付け

第3回 期日8月24日～25日

内容 『大工技術の体験』

1日目 土台、柱、桁、梁の墨付け及び刻み

講座：住宅の設計について

2日目 土台、柱、桁、梁の刻み

第4回 期日9月28日～29日

内容 『躯体工事及び外回り工事』

1日目 建て方と屋根工事

講座：日本の住宅の屋根について

2日目 屋根工事

第5回 期日10月12日～13日

内容 『外壁下地工事、左官下地工事』

1日目 外壁下地工事 造作工事、屋根工事

講座：土壁について

2日目 左官下地工事（竹子舞作り）

第6回 期日11月9日～10日

内容 『左官下地工事（土壁）』

1日目 竹子舞（泥壁塗り）

講座：古民家再生について

2日目 竹子舞

第7回 期日 12月7日～8日

内容 『 外壁工事 』

- 1日目 外壁板張り
講座：住宅の設備について
- 2日目 造作工事 外壁板張り

第8回 期日 1月18日～19日

内容 『 左官工事(中塗り) 造作工事 』

- 1日目 土壁中塗り
講座：畳について
- 2日目 造作工事 内外壁板張り

第9回 期日 2月8日～9日

内容 『 内外装仕上げ工事 』

- 1日目 壁塗り(仕上げ)
講座：木製建具について
- 2日目 内壁板張り

第10回 期日 3月7日～8日

内容 『 仕上げ工事 閉講式 』

- 1日目 仕上げ工事 周辺整備
交流会
- 2日目 閉校式 振り返り

【指導および講師】

講師及び協力者

設計	細谷 匠	グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(株)		
建築	黒川 富夫	黒川建設	大工	神子 博美
建材	木下 稔	(有)木下林業		
左官	福辺 克己	(株)福辺工業所		
左官	鈴木 睦夫	鈴木左官		
畳	長田 久富	(有)オサダ		
板金	池田 敏夫	池田板金		
電気・設備	戸倉 勝美	(株)戸倉商店		
瓦	川名 邦夫	川名瓦店		
建具	小芝 幸一	小芝木工所		
材木	山口 隆弘	山口木材工業(株)		

「家づくり体験塾」塾生募集について

NPO 法人大山千枚田保存会
理事長 石田三示

NPO法人大山千枚田保存会は令和元年度「家づくり体験塾」開催いたします。「家づくり体験塾」とは、有限の資源や環境を考えながら豊かな暮らしを作っていこうとする「衣食住」の「住」からの提案です。家のことをもっと知りたい、自分の住む家を自分自身の手で作ってみたいという声に応え、新築の住宅建築や古民家を改修する工程を作業を体験しながら学びます。また、地元産の木材を使うことにより里山の環境を守りながら、日本の気候風土に合った伝統的な建築技術も学びます。農村の古民家も手を入れ再生をすることにより、資源の有効利用も出来、農村景観までも保全しようとするものです。また地域の木材の利用により森の再生が推進され、ひいては地球の温暖化防止にも繋がります。

それぞれの課程で専門の技術者が丁寧に指導します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

■ 参加申し込み締切日 令和元年 6 月 30 日（日）

「家づくり体験塾」に参加ご希望の方は、参加申し込み書にご記入の上、郵送、FAX、又は E-mail でお申込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

【問い合わせ、申し込み先】

〒296-0232 千葉県鴨川市平塚 540 番地

棚田倶楽部内 NPO法人大山千枚田保存会宛

TEL 04-7099-9050

FAX 04-7099-9051

E-mail info@senmaida.com

※会費は決定通知後、指定の口座にお振込み下さい。

令和元年度大山千枚田「家づくり体験塾」参加申込書

大山千枚田保存会「家づくり体験塾」の趣旨に賛同し、参加申し込みいたします。

ふりがな

氏 名 _____ 印

年 齢 _____ 才

性 別 男 女

職 業 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

F A X _____

E-mail _____

ご意見、ご要望欄（自由にお書きください。）
